

業種別業界景気動向調査結果

令和7年度 第3四半期(令和7年10月～12月期)調査

概要

1. 調査の目的 四半期ごとに調査を行い、短期的な景気動向を把握する。
2. 調査基準日 令和7年11月15日
3. 調査対象 当所管内の中小企業等より138社を抽出。
4. 回答企業数 110社(回答率80%)

業種別内訳	製造業	21社	建設業	22社
	卸売業	10社	小売業	26社
	サービス業	27社	その他	4社
規模別内訳	大企業	1社	中小企業	104社
	業界団体	5社		

* 期間表記について

- 「今期」： 令和7年10月～12月
「前年同期」： 令和6年10月～12月
「前期」： 令和7年7月～9月
「来期」： 令和8年1月～3月

* DI値(景気動向指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの各項目についての判断の状況を表す指数である。
ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

I. 定例調査

1. 全体概況＜今期（令和7年10月～12月）の全業種の概要＞

景気判断DIは、前期比では改善するも来期見通しは厳しい見方

景気・業況判断： 景況感は前期比で大幅上向き。

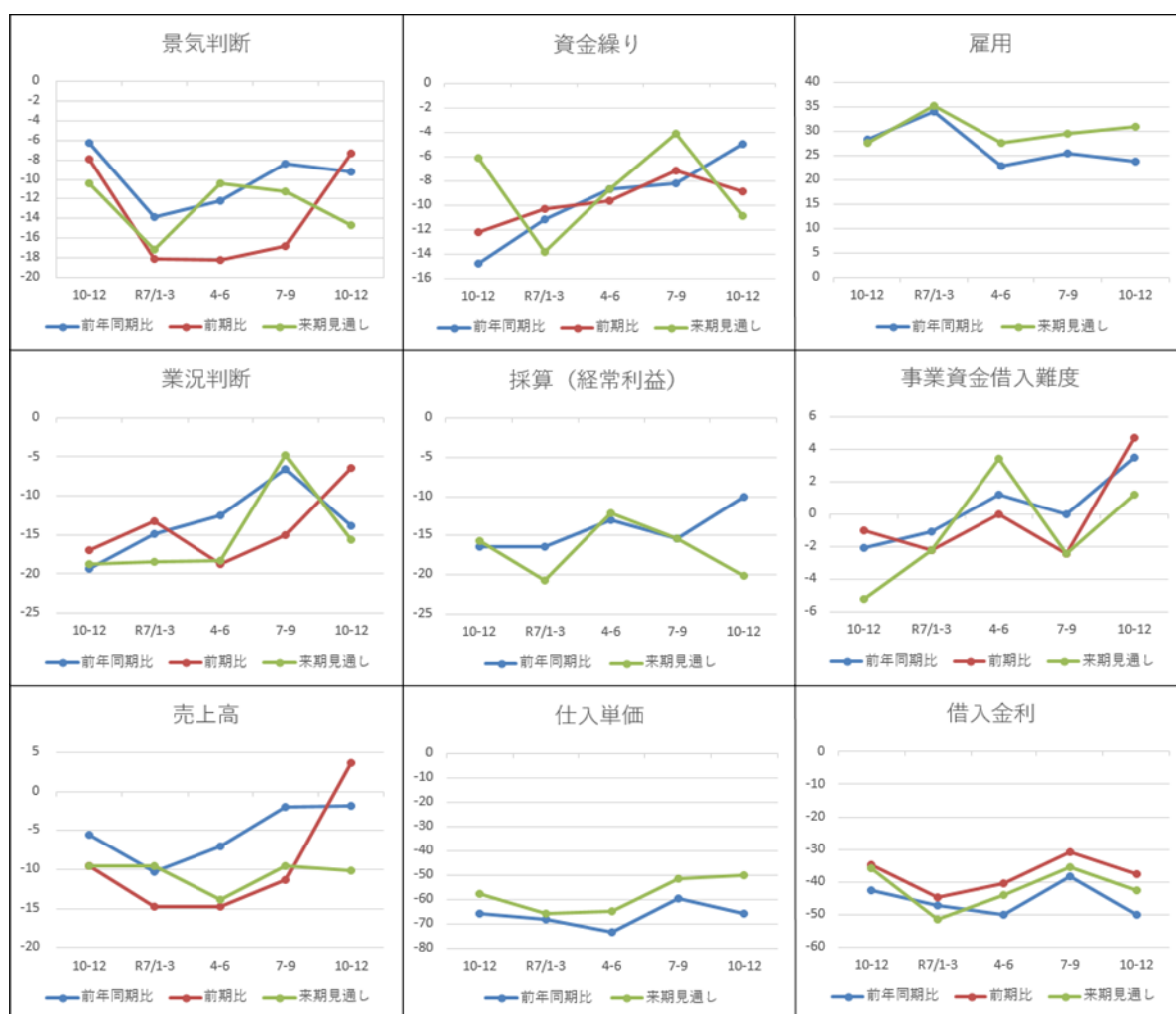
売上高： 前期比で大幅上向き。

雇用： 雇用の改善（または人員確保の進展）を見込む企業が増加。

事業資金借入難度： 借入が難しいと感じる企業がやや増加。

借入金利： 前年同期比、前期比、来期見通しともに悪化。

項 目	前年同期比DI			前期比DI			来期(先行)見通しDI		
	比較	DI	判断	比較	DI	判断	比較	DI	判断
景気判断	↓	▲ 9.2	マイナス幅拡大	↑	▲ 7.3	マイナス幅縮小	↓	▲ 14.7	マイナス幅拡大
業況判断	↓	▲ 13.8	マイナス幅拡大	↑	▲ 6.4	マイナス幅縮小	↓	▲ 15.6	マイナス幅拡大
売上高	↑	▲ 1.8	マイナス幅縮小	↑	3.7	プラス値に転じる	↓	▲ 10.1	マイナス幅拡大
資金繰り	↑	▲ 5.0	マイナス幅縮小	↓	▲ 8.9	マイナス幅拡大	↓	▲ 10.9	マイナス幅拡大
採算〔経常利益〕	↑	▲ 10.1	マイナス幅縮小	-	-	-	↓	▲ 20.2	マイナス幅拡大
仕入単価	↓	▲ 65.4	マイナス幅拡大	-	-	-	↑	▲ 50.0	マイナス幅縮小
雇用	↓	23.8	プラス幅縮小	-	-	-	↑	30.8	プラス幅拡大
事業資金借入難度	↑	3.5	プラス幅拡大	↑	4.7	プラス値に転じる	↑	1.2	プラス値に転じる
借入金利	↓	▲ 50.0	マイナス幅拡大	↓	▲ 37.5	マイナス幅拡大	↓	▲ 42.5	マイナス幅拡大



当所管内業種別景況天気図（令和7年10月～12月期）

業種別	景気判断			業況判断			売上高			資金繰り			採算		
	R7 10月～12月期		R8 1月 ～ 3月 期	R7 10月～12月期		R8 1月 ～ 3月 期	R7 10月～12月期		R8 1月 ～ 3月 期	R7 10月～12月期		R8 1月 ～ 3月 期	R7 10月～12月期		R8 1月 ～ 3月 期
	前年 同期比	前期 比	見 通し	前年 同期比	前期 比	見 通し	前年 同期比	前期 比	見 通し	前年 同期比	前期 比	見 通し	前年 同期比	見 通し	
全業種															
製造業															
建設業															
卸売業															
小売業															
サービス業															
その他の業															

凡 例					
	特に好転	好転	不変	悪化	特に悪化
DI値水準	>= +25.0	+24.9～+10.0	+9.9～-9.9	-10.0～-24.9	<= -25.0

2. 各指標等

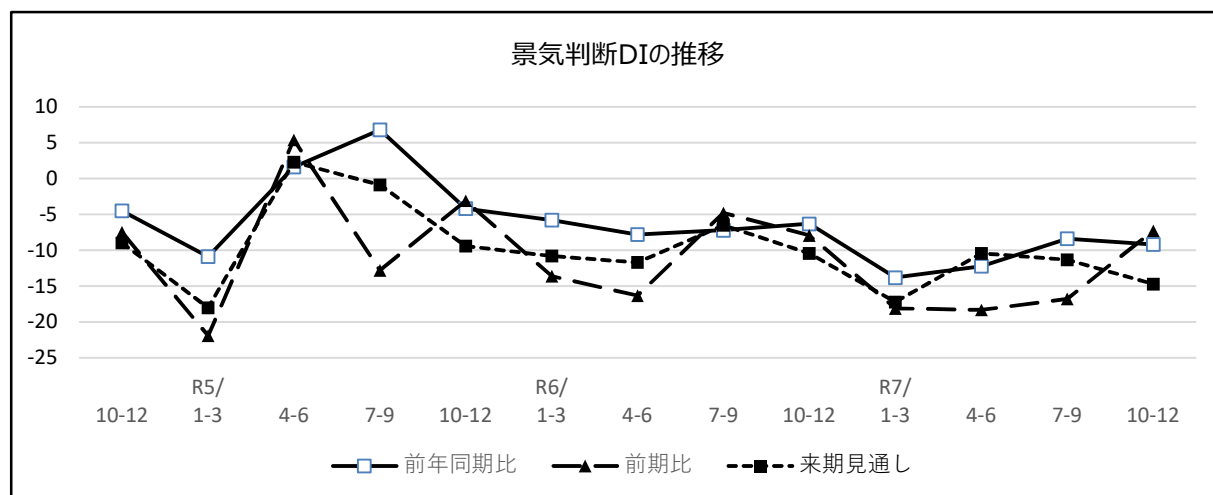
(1) 景気判断

景気判断D I（「上昇した企業割合」－「下降した企業割合」の指数）

前年同期比： DIは▲9.2ポイント。前回調査（▲8.4）から悪化して0.8マイナス幅が拡大した。

前 期 比： DIは▲7.3ポイント。前回調査（▲16.8）から改善して9.5マイナス幅が縮小した。

来期見通し： DIは▲14.7ポイント。前回調査（▲11.3）から悪化して3.4マイナス幅が拡大した。



景気判断DIの推移																										
		10-12		R5/1-3		4-6		7-9		10-12		R6/1-3		4-6		7-9		10-12		R7/1-3		4-6		7-9		10-12
全業種	前年同期比	▲4.5	↓	▲10.9	↑	1.6	↑	6.8	↓	▲4.2	↓	▲5.8	↓	▲7.8	↑	▲7.2	↑	▲6.3	↓	▲13.8	↑	▲12.2	↑	▲8.4	↓	▲9.2
	前 期 比	▲7.5	↓	▲21.9	↑	5.4	↓	▲12.8	↑	▲3.1	↓	▲13.6	↓	▲16.3	↑	▲4.8	↓	▲7.9	↓	▲18.1	↓	▲18.3	↑	▲16.8	↑	▲7.3
	来期見通し	▲9.0	↓	▲18.0	↑	2.3	↓	▲0.9	↓	▲9.4	↓	▲10.8	↓	▲11.7	↑	▲6.5	↓	▲10.4	↓	▲17.2	↑	▲10.4	↓	▲11.3	↓	▲14.7
製造業	前年同期比	▲3.8	↓	▲16.7	↑	11.5	↓	0.0	↓	▲16.7	↑	▲5.9	↑	▲4.0	↓	▲26.1	↑	▲8.3	↑	▲4.3	↓	▲13.0	↓	▲15.8	↓	▲28.6
	前 期 比	▲7.7	↓	▲29.2	↑	▲7.7	↓	▲12.0	↑	5.6	↓	▲17.6	↑	▲12.0	↑	▲8.7	↑	0.0	↓	▲4.3	↓	▲21.7	↑	▲15.8	↑	▲14.3
	来期見通し	▲19.2	↓	▲20.8	↑	0.0	↓	▲12.0	↑	0.0	→	0.0	↓	▲4.0	↓	▲21.7	↑	▲12.5	↑	▲4.3	↓	▲13.0	↓	▲36.8	↑	▲19.0
建設業	前年同期比	▲20.0	↓	▲23.8	↑	▲20.0	↑	▲15.4	↑	▲11.8	↓	▲28.6	↑	▲20.0	↑	▲12.0	↑	8.3	↓	▲28.6	↓	▲31.8	↑	▲20.0	↓	▲31.8
	前 期 比	▲15.0	↓	▲23.8	↑	▲5.0	↓	▲46.2	↑	5.9	↓	▲21.4	↓	▲40.0	↑	▲4.0	↑	4.2	↓	▲42.9	↑	▲40.9	↑	▲20.0	↑	▲4.5
	来期見通し	▲30.0	↓	▲33.3	↑	▲15.0	↑	▲7.7	↓	▲17.6	↓	▲21.4	↓	▲30.0	↑	▲12.0	↓	▲12.5	↓	▲33.3	↑	▲22.7	↑	5.0	↓	▲22.7
卸売業	前年同期比	0.0	↓	▲16.7	↓	▲27.3	↑	▲18.2	↑	▲12.5	↑	0.0	↑	14.3	↓	▲7.1	↓	▲33.3	↑	▲16.7	↓	▲23.1	↓	▲33.3	↑	0.0
	前 期 比	▲23.1	↓	▲25.0	↑	36.4	↓	▲9.1	↓	▲25.0	↑	▲10.0	↑	▲7.1	↓	▲14.3	↓	▲16.7	→	▲16.7	↓	▲23.1	↓	▲25.0	↓	▲40.0
	来期見通し	7.7	↓	▲16.7	↑	9.1	↓	▲9.1	↓	▲25.0	↑	10.0	↓	▲14.3	↓	▲23.1	↓	▲33.3	↓	▲41.7	↑	▲38.5	↑	▲25.0	↓	▲30.0
小売業	前年同期比	2.7	↓	0.0	→	0.0	↑	12.9	↓	▲21.7	↑	▲4.0	↓	▲25.0	↑	0.0	↓	▲22.6	↑	▲17.9	↓	▲23.1	↑	12.0	↓	8.0
	前 期 比	▲8.1	↑	▲2.8	↓	▲8.8	↓	▲12.9	↓	▲13.0	↑	▲12.0	↓	▲15.6	↑	0.0	↓	▲32.3	↑	▲10.7	↓	▲15.4	↑	▲4.0	↑	0.0
	来期見通し	▲8.1	↓	▲16.7	↑	▲5.9	↑	3.2	↓	▲4.3	↓	▲12.0	↓	▲18.8	↑	0.0	↓	▲12.9	↑	▲10.7	↑	▲3.8	↓	▲16.0	↑	0.0
サービス業	前年同期比	▲7.7	→	▲7.7	↑	25.9	↓	21.4	↑	23.8	↓	▲3.6	↑	0.0	↑	10.3	↓	6.7	↓	▲11.1	↑	19.2	↓	▲3.8	↑	0.0
	前 期 比	7.7	↓	▲38.5	↑	37.0	↓	3.6	↓	0.0	↓	▲14.3	↓	▲15.6	↑	0.0	→	0.0	↓	▲25.9	↑	0.0	↓	▲23.1	↑	▲3.7
	来期見通し	7.7	↓	0.0	↑	22.2	↓	14.3	↓	▲14.3	→	▲14.3	↑	▲6.5	↑	10.3	↓	0.0	↓	▲18.5	↑	3.8	↓	0.0	↓	▲14.8
その他の業	前年同期比	0.0	↓	▲11.1	↑	▲9.1	↑	22.2	→	22.2	↓	20.0	↓	16.7	↓	▲33.3	↑	20.0	→	20.0	↓	0.0	→	0.0	↑	25.0
	前 期 比	▲9.1	↓	▲22.2	↑	▲9.1	↓	▲22.2	↑	0.0	→	0.0	↑	16.7	↓	▲16.7	↑	20.0	→	20.0	↓	0.0	↓	▲20.0	↑	25.0
	来期見通し	▲9.1	↓	▲33.3	↑	9.1	↓	▲11.1	↑	0.0	↓	▲40.0	↑	33.3	↓	0.0	↑	20.0	→	20.0	→	20.0	→	20.0	↓	0.0

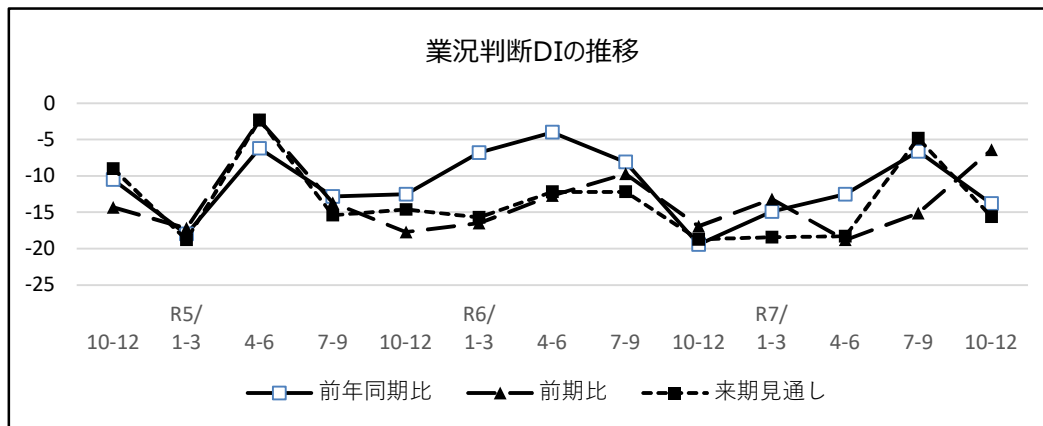
(2) 業況判断

業況判断D I (「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数)

前年同期比： DIは▲13.8ポイント。前回調査 (▲6.6) から悪化して7.2マイナス幅が拡大した。

前 期 比： DIは▲6.4ポイント。前回調査 (▲15.1) から改善して8.7マイナス幅が縮小した。

来期見通し： DIは▲15.6ポイント。前回調査 (▲4.8) から悪化して10.8マイナス幅が拡大した。



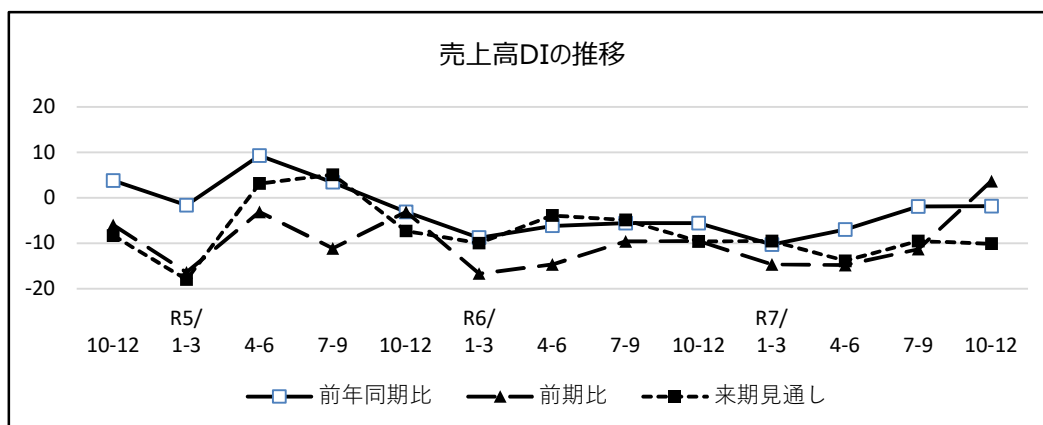
(3) 売上高〔受注額〕

売上高D I (「増加した企業割合」－「減少した企業割合」の指数)

前年同期比： DIは▲1.8ポイント。前回調査 (▲1.9) から改善して0.1マイナス幅が縮小した。

前 期 比： DIは3.7ポイント。前回調査 (▲11.3) から改善して15.0プラス値に転じた。

来期見通し： DIは▲10.1ポイント。前回調査 (▲9.5) から悪化して0.6マイナス幅が拡大した。



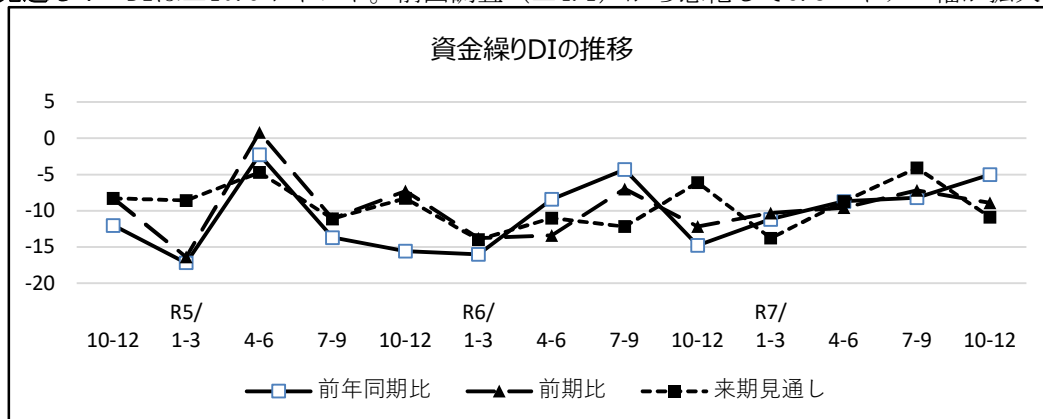
(4) 資金繰り

資金繰りD I (「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数)

前年同期比： DIは▲5.0ポイント。前回調査 (▲8.2) から改善して3.2マイナス幅が縮小した。

前 期 比： DIは▲8.9ポイント。前回調査 (▲7.2) から悪化して1.7マイナス幅が拡大した。

来期見通し： DIは▲10.9ポイント。前回調査 (▲4.1) から悪化して6.8マイナス幅が拡大した。

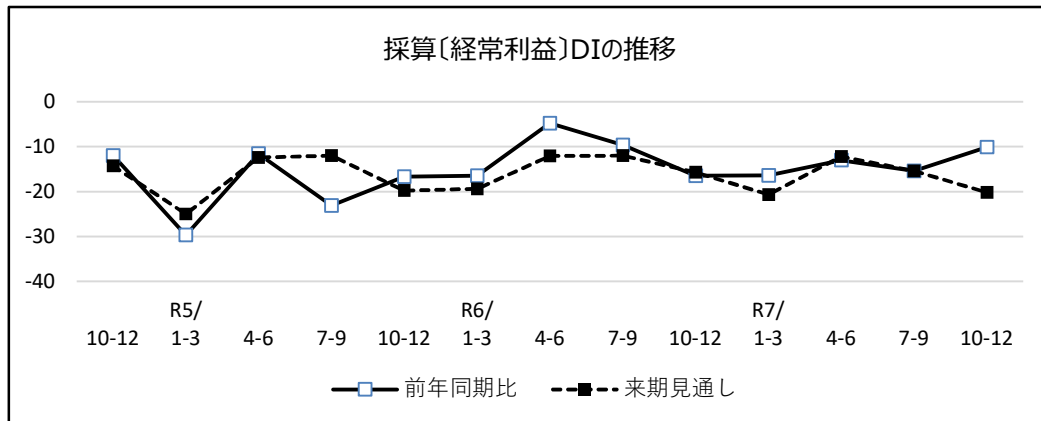


(5) 採算〔経常利益〕

採算D I（「好転した企業割合」－「悪化した企業割合」の指数）

前年同期比： DIは▲10.1ポイント。前回調査（▲15.4）から改善して5.3マイナス幅が縮小した。

来期見通し： DIは▲20.2ポイント。前回調査（▲15.4）から悪化して4.8マイナス幅が拡大した。

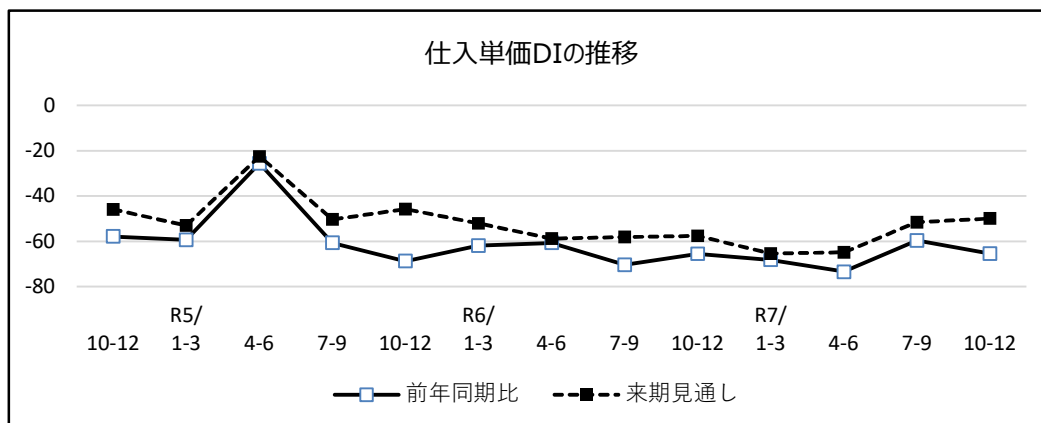


(6) 仕入単価

仕入単価D I（「下落した企業割合」－「上昇した企業割合」の指数）

前年同期比： DIは▲65.4ポイント。前回調査（▲59.6）から悪化して5.8マイナス幅が拡大した。

来期見通し： DIは▲50.0ポイント。前回調査（▲51.5）から改善して1.5マイナス幅が縮小した。

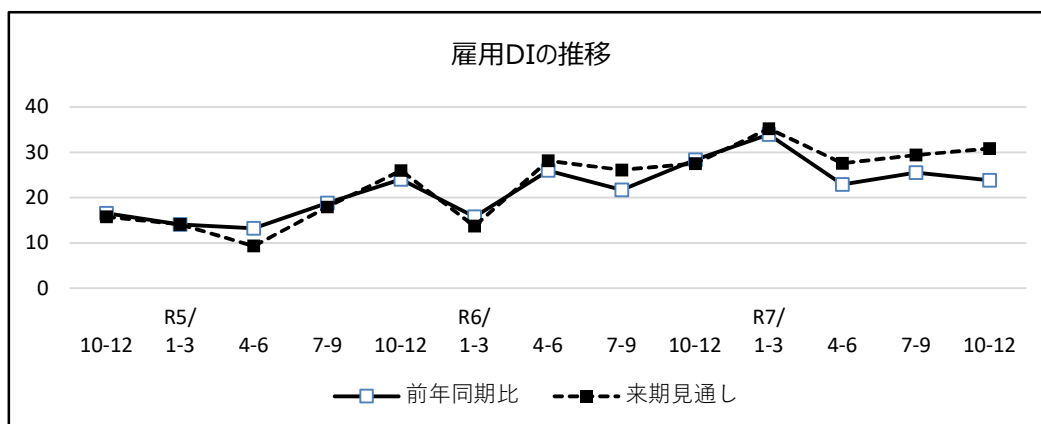


(7) 雇用

雇用D I（「不足気味の企業割合」－「過剰気味の企業割合」の指数）

前年同期比： DIは23.8ポイント。前回調査（25.5）から改善して1.7プラス幅が縮小した。

来期見通し： DIは30.8ポイント。前回調査（29.4）から悪化して1.4プラス幅が拡大した。

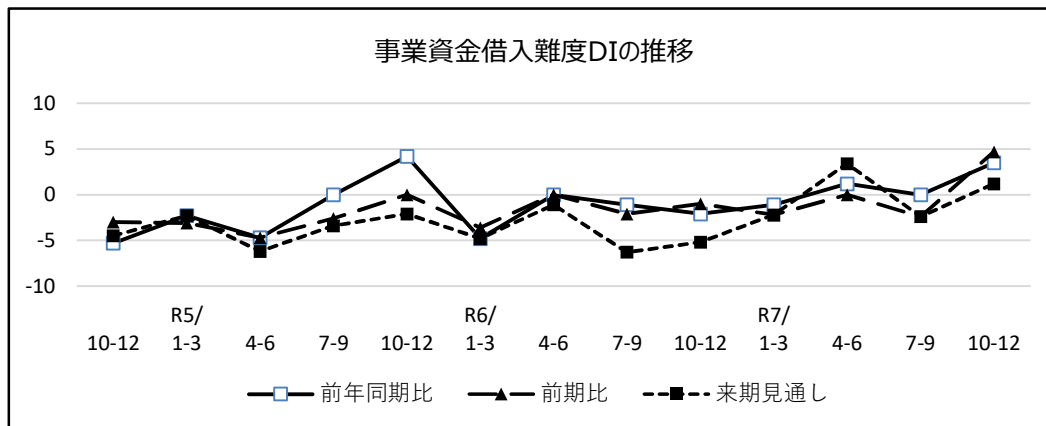


(8) 事業資金借入難度 事業資金借入難度DI（「ゆるやかな企業割合」－「きびしい企業割合」の指数）

前年同期比： DIは3.5ポイント。前回調査（0.0）から改善して3.5プラス幅が拡大した。

前期比： DIは4.7ポイント。前回調査（▲2.4）から7.1改善してプラス値に転じた。

来期見通し： DIは1.2ポイント。前回調査（▲2.4）から3.6改善してプラス値に転じた。

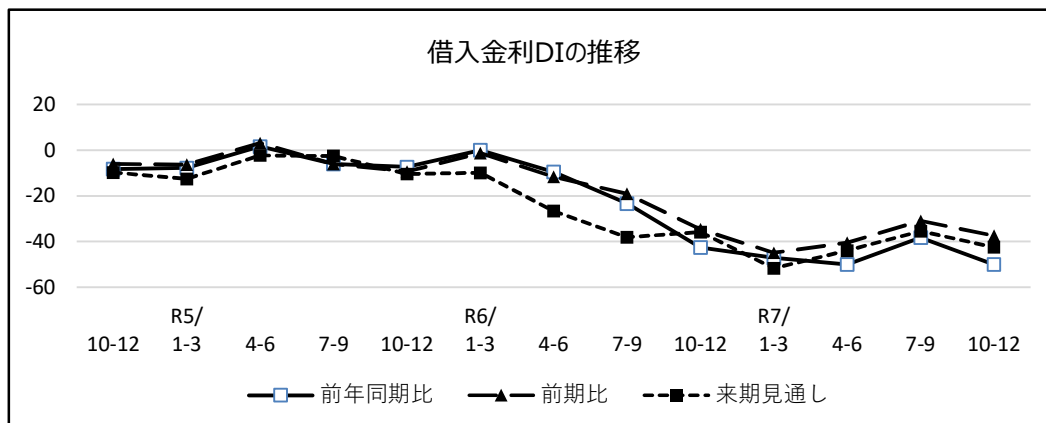


(9) 借入金利 借入金利DI（「下落した企業割合」－「上昇した企業割合」の指数）

前年同期比： DIは▲50.0ポイント。前回調査（▲38.3）から悪化して11.7マイナス幅が拡大した。

前期比： DIは▲37.5ポイント。前回調査（▲30.9）から悪化して6.6マイナス幅が拡大した。

来期見通し： DIは▲42.5ポイント。前回調査（▲35.4）から悪化して7.1マイナス幅が拡大した。

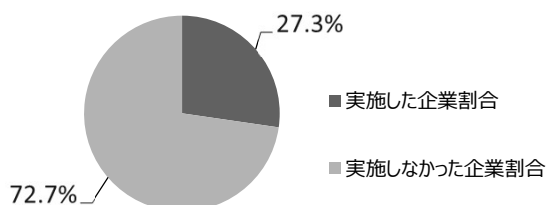


(10) 設備投資

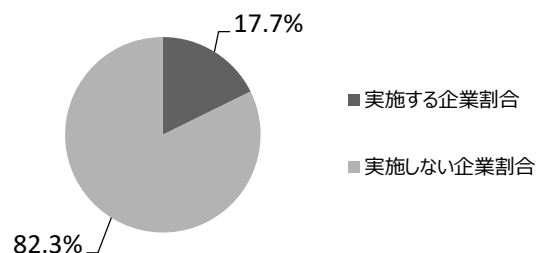
今期設備投資を実施したと回答した企業は27.3%となり、前回調査（24.0%）より3.3%増加した。

来期設備投資を計画している企業は17.7%となり、前回調査（18.9%）より1.2%減少した。

設備投資（全業種：今期）

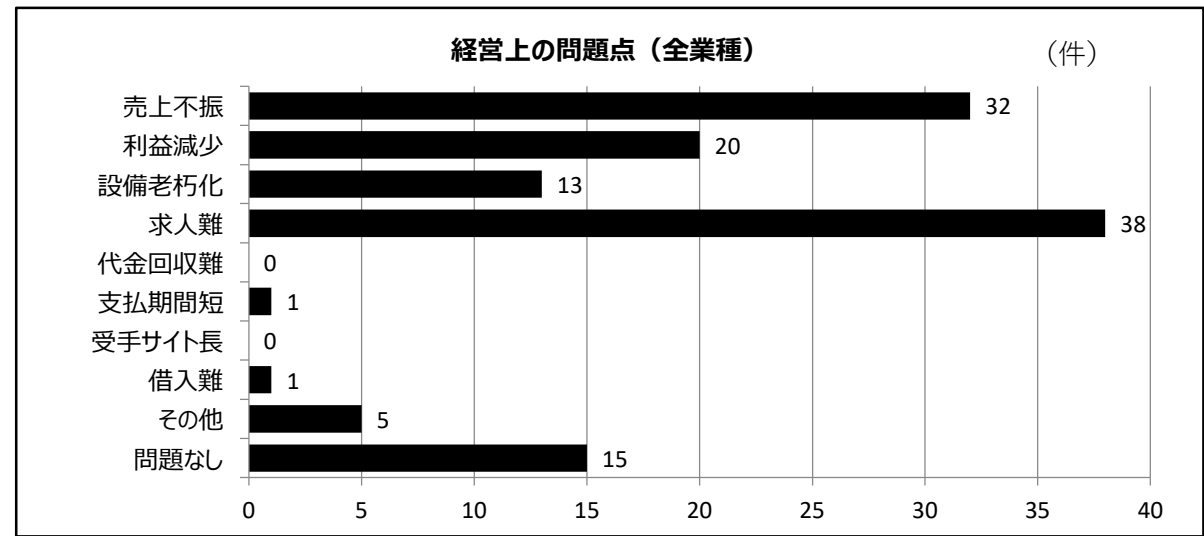


設備投資計画（全業種：来期見通し）



(11) 経営上の問題点

経営上の問題点として、「求人難」が38件と最も多く挙げられている。次いで、「売上不振」が32件となっている。



その他

店舗目線にあった商品仕入れ
時間の制約
人材育成、定着、採用
人件費の増加
キャンペーンによる仕入増、商品在庫の過剰

(12) 産業別の主な動き

判定	↑	↗	→	↘	↓
前期との差	10.0以上	9.9～1.1	1.0～-1.0	-1.1～-9.9	-10.0以上
	改善 ←				悪化 →

【製造業】

景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↓	↘	↘	↘	↑	↓	↓	→	↓

【建設業】

景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↓	↘	↓	↘	↑	↗	↑	↘	↓

【卸売業】

景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↑	↑	↑	↗	↑	↘	↓	↑	↑

【小売業】

景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↘	↓	↘	↗	↗	↘	↘	↗	↓

【サービス業】

景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↗	↘	↘	↗	↓	↑	↑	↘	↓

【その他の業】

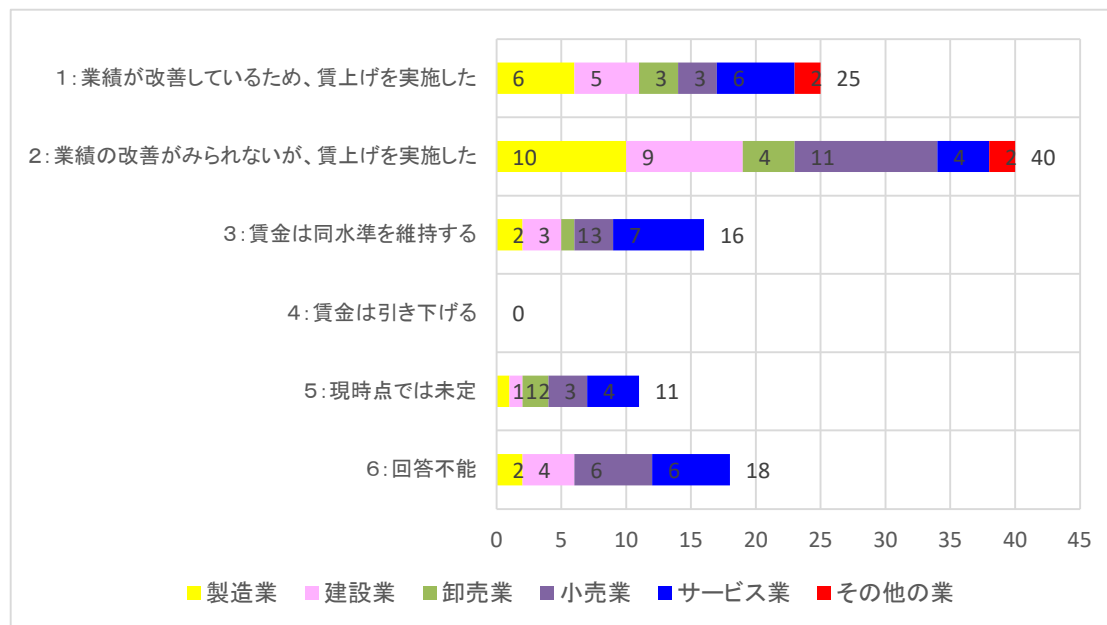
景気判断	業況判断	売上高	資金繰り	採算	仕入単価	雇用	借入難度	借入金利
↑	→	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↓

Ⅱ. 付帯調査

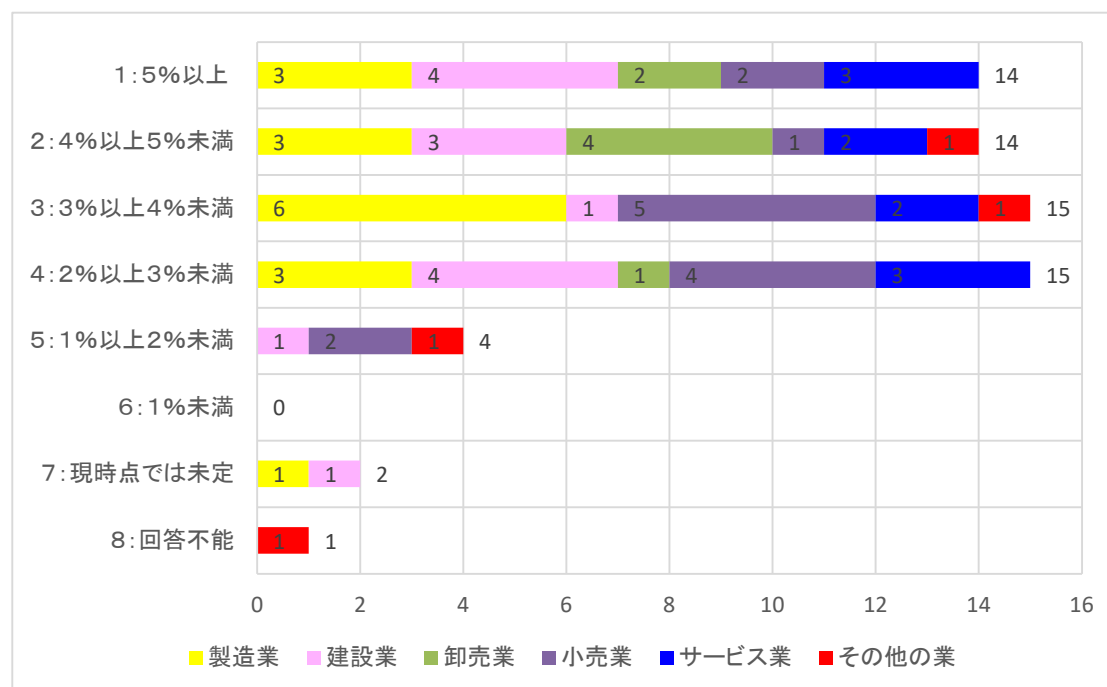
1. 賃上げの状況について

(1) 正社員における2025年度の賃上げの状況について (n=110)

全体回答の59.1% (65/110) は賃上げを行った。

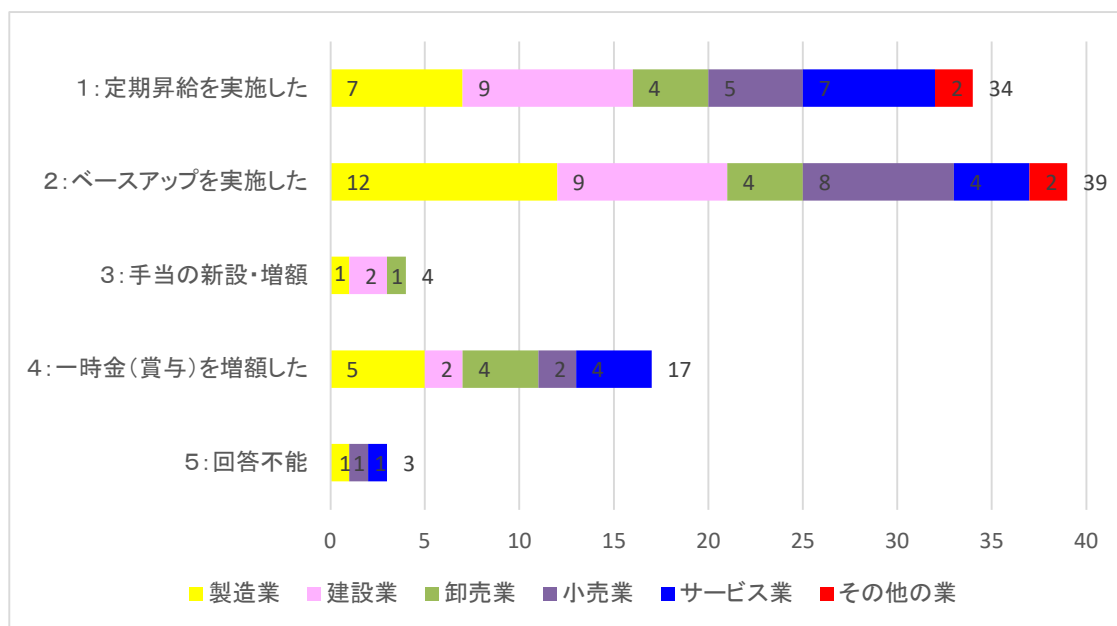


(2) 正社員における2025年度の賃上げ率について (n=65)



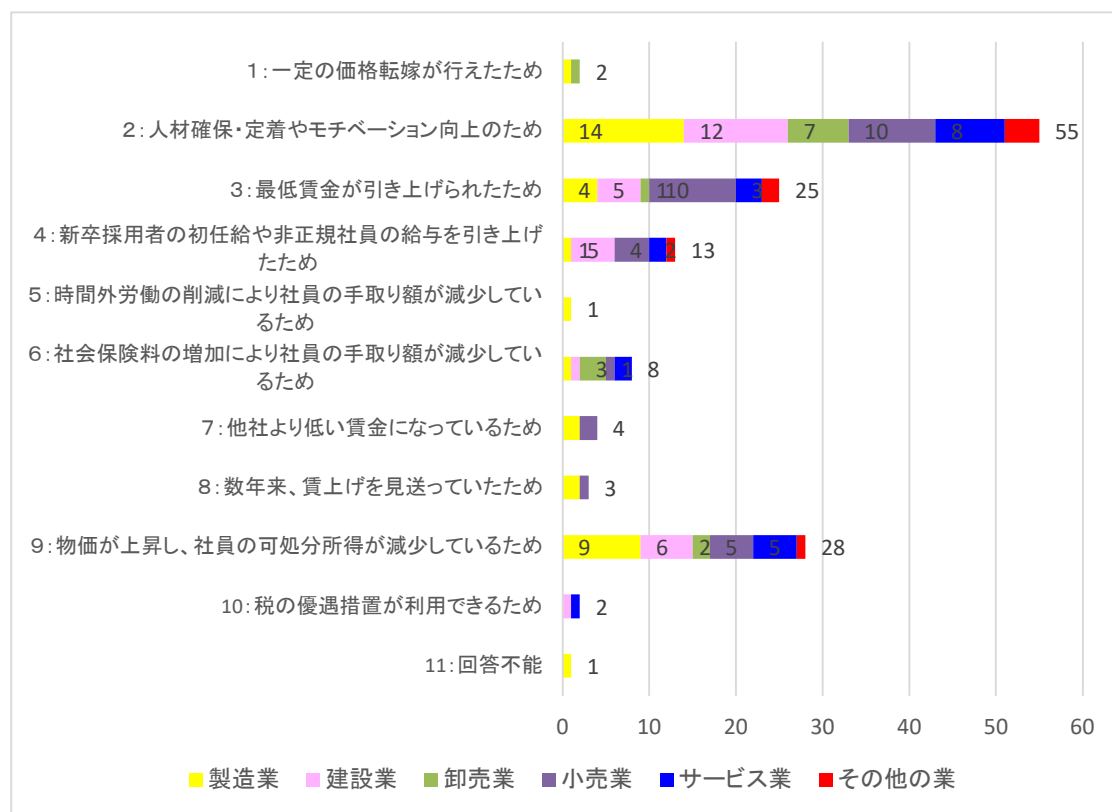
(3) 正社員における2025年度（2025年4月～2026年3月）の賃上げの内容について（n=65 複数回答有）

定期昇給（年齢や勤続年数に応じて賃金を一定額増やすこと）や、ベースアップ（賃金水準を引き上げる）をした企業が半数以上にのぼった。



(4) 賃上げを行う理由について（n=65 複数回答有）

人材確保・定着やモチベーション向上のために賃上げをした企業が84.6%



(5) 賃上げを見送るもしくは未定とする理由について (n = 45 複数回答有)
 全体回答の40.9%は賃上げを見送った。

